### 特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構

### 第 14 期(2018 年度)事業報告書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

### 1. 事業の概略

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(以下 J-DO)は、愛知県内の名古屋市を中心に、全国で国民の健康の保持増進、医薬品の安全性・有効性を立証する調査・研究を推進することにより、医薬品の適正使用を図り、人々が安心で安全な生活を営める社会を築くための手助けとならんことを目指している。

具体的には本法人の定款第5条(1)医薬品と安全に上手に付き合うための教育のための事業として、一般市民、小学生~高校生、薬学部学生1,324名、医師、薬剤師、医療従事者、教職員1,472名(計2,796名)に対して医薬品の適正使用に関わる指導者育成講座および公開講座を実施した。また、同条(3)医薬情報の収集提供として、出版物や、論文・学会発表等48件を行った。

こ礼た実績に基づき、広く国民の生命、健康の保持増進に大きく貢献した。

### 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(ア)医薬品と安全に上手に付き合うための教育のための事業についての教育・セミナーを 15 回実施した。 (H18/8回、H19/14回、H20/19回、H21/37回、H22/22回、H23/24回、H24/29回、H25/26回、H26(第9期)/6回、H26(第10期)/26回、H27/29回、H28/36回、H29/22回 過去に累計 298回 実績)

回	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数 (人)	人数(名)
299	天白生涯学習センター前期講座【名城大学共催】 親子で楽しい数理科学教室(第4回) 「見てみよう 薬のはたらき」 間宮隆吉(理事)	2018年 6月23日	名城大学 八事キャンパス (名古屋市)	1 名	小学生·父兄 20組 (40名)
300	児童向けおくすり教室「くすりと安全に安心して付き合う」 「薬物乱用防止教育」 新田淳美(会員)、鍋島俊隆(理事)	2018年 7月12日	富山大学付属 小学校 (富山市)	14 名	小学生 70名
	「くすりの正しい飲み方:くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室:実験講座」 間宮隆吉、野田幸裕、鍋島俊隆(理事), ※名城大学薬学部との共同企画	2018年 7月14日	三好小学校 子供会 (愛知県 みよし市)	2名	小学生 71 名
302	「〈すりの正しい飲み方:〈すりと安全に安心して付き合う」「〈すり教室:実験講座」 間宮隆吉、野田幸裕、鍋島俊隆(理事) ※一宮市薬剤師会との共催	2018年 7月22日	尾西生涯学習 センター (愛知県一宮市)	3名	小学生 146名
	児童向けおくすり教室「くすりの正しい飲み方:くすりと安全に安心して付き合う」・「くすり教室:実験講座」・「薬物乱用・依存」 間宮隆吉、鍋島俊隆(理事) ※名城大学薬学部との共同企画	2018年9月11日	名古屋市立 八事小学校 (名古屋市)	3名	小学生 61 名
	第2回 日本精神薬学会総会·学術集会【教育講演】 『精神科薬剤師に期待する』 鍋島俊隆(理事)	2018年 9月15日	名城大学 八事キャンパス (名古屋市)	7名	学生 薬剤師 研究者 250 名

回	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数 (人)	受益対象者 の範囲および 人数(名)
305	児童向けおくすり教室「くすりの正しい飲み方:くすりと安全に安心して付き合う」・「くすり教室:実験講座」 野田幸裕、間宮隆吉、鍋島俊隆(理事) 名城大学薬学部と共催	2018年 9月22日	名古屋市立 表山小学校 (名古屋市)	3名	小学生5名 保護者14名
306	児童向けおくすり教室「くすりの正しい飲み方:くすりと安全に安心して付き合う」・「くすり教室:実験講座」 野田幸裕、間宮隆吉、鍋島俊隆(理事) 名城大学薬学部と共催	2018 年 10月 24日	名古屋市立 栄小学校 (名古屋市)	3名	小学生 20名
307	名城大学大学祭 2018 市民公開イベント 児童向けおくすり教室「くすりの正しい飲み方:〈すりと安全 に安心して付き合う」・「〈すり教室:実験講座」 野田幸裕、間宮隆吉、鍋島俊隆(理事) 名城大学薬学部と共催	2018年 11月3日	名城大学 八事キャンパス (名古屋市)	2名	小学生 父兄 40名
308	第 28 回日本臨床精神神経薬理学会 第 48 回日本神経精神薬理学会合同年会 NP 精神科専門薬剤師精神医学セミナー 「抗精神病薬の長期投与による脳機能への影響」 発表 鍋島俊隆	2018 年 11 月 28 日	東京ドーム ホテル (東京)	5名	薬剤師 医師 研究者 155名
309	児童向けおくすり教室「くすりの正しい飲み方:くすりと安全に安心して付き合う」・「くすり教室:実験講座」 野田幸裕、間宮隆吉、鍋島俊隆(理事) 名城大学薬学部と共催	2018年 11月28日	宮西小学校 (愛知県 一宮市)	3名	小学生103名 父兄 24名
310	NPO 法人イーマ、第 144 回イーマ例会招待講演「くすりと安全に安心して付き合う」 講演 鍋島俊隆	20118年 12月7日	四谷地域センター (東京都)	5名	一般市民 41名
311	NPO 法人わかくさ家族の会/精神障がい者および家族・市民の講演会 「向精神薬の減量・中止と離脱症状」 講師 吉尾隆(理事)	2019年2月12日	ハ王子クリエ仆 ホール (ハ王子市)	5名	一般市民 50名
	児童向けおくすり教室「くすりの正しい飲み方:くすりと安全に安心して付き合う」・「くすり教室:実験講座」 野田幸裕、間宮隆吉、毛利彰宏、鍋島俊隆(理事) 山陽小野田市薬剤師会 山口東京理科大学薬学部 と共催	2019 年 2 月 14 日	市立小野田 小学校 (山口県山陽 小野田市)	5名	小学生65名 大学生10名 薬剤師2名 教員4名
	高校生教育講話 「薬物乱用防止について」 鍋島俊隆(理事)	2019年3月8日	名古屋市立 富田高校 (名古屋市)	5名	生徒 560 名

従事 66 名、参加者 1,731 名

費用 収入 0円 支出 161,130円

内訳:セミナー、出前授業(開催費、旅費、宿泊費)

# (イ)第5条の特定非営利活動に関わる事業として、法人会員のスギ薬局グループの杉浦記念財団が、ネット配信型の薬剤師研修プログラムを、実施している。

http://sugi-zaidan.jp/iseminar\_new/index.html

社団法人)日本薬剤師研修センターのインターネット研修教材として、名城大学薬学部地域医療薬局学講座でNPO J-DO が開催した薬剤師向けセミナーを使用している。この事業について、費用は発生しなかった。

## (ウ)薬剤師、医師、看護師、臨床検査技師などの医療人育成を目指した下記の講習会を企画・開催・共催・後援し、各団体と連携して事業を推進した。

講習会等の内容	日時·場所·参加者数(従事者数)
第9回地域連携薬剤管理指導研究会·講演会 〜妊婦·授乳婦に対する薬物治療管理支援 山田清文、鍋島俊隆(理事)	2018 年 4 月 22 日 名古屋大学医学部基礎医学研究棟 (名古屋市) 薬剤師·看護師·医師 184 名(11 名)
第 65 回脳の医学·生物学研究会(共催) 鍋島俊隆、山田清文、平松正行 (理事)	2018 年 8 月 11 日   名古屋市立大学 (名古屋市)   薬剤師·医師·研究者 45 名(7名)
名城大学校友会山梨県支部総会講演会 「〈すりとの上手なつきあい方:高齢者を対象とした〈すりの正しい飲み 方・使い方」 演者:野田幸裕(理事)	2018年9月8日 (ホテルやまなみ、山梨県笛吹市) 薬剤師、メディカルスタッフ12名(1名)
第2回日本精神薬学会総会·学術集会」(後援)	2018 年 9 月 15-16 日名城大学八事キャンパス(名古屋市)薬剤師・医療従事者 504 名(12名)
15th International Society for Tryptophan Research (ISTRY) Conference(後援) 大会長 齋藤邦明(理事)	2018 年 9 月 18 日-21 日 滋賀県立大学(滋賀県彦根市) 研究者、教員、学生 151 名(25 名)
第四回科学技術交流財団先進新診断システム研究会 齋藤邦明、毛利彰宏、鍋島俊隆(理事)	2018年9月22日 ウインクあいち(名古屋市) 研究者 27名(5名)
第 10 回地域連携薬剤管理指導研究会·講演会 〜医看薬薬連携で目指すチーム医療〜 山田清文、鍋島俊隆(理事)	2018 年 11 月 11 日 名古屋大学医学部基礎医学研究棟 (名古屋市) 薬剤師·看護師·医師 65 名(11 名)
第五回科学技術交流財団先進新診断システム研究会 齋藤邦明、毛利彰宏、鍋島俊隆(理事)	2018 年 12 月 15 日 ウインクあいち(名 古屋市) 研究者 27 名(5 名)
第 66 回脳の医学·生物学研究会 共催 山田清文、鍋島俊隆(理事)	2018 年 1 月 20 日   名古屋市立大学(名古屋)   研究者·医師·薬剤師 50 名(7名)

従事者(84 名)、参加者数(1,065 名)

上記の開催について、費用は発生しなかった。

(工)定款第5条に係る活動として、一般社団法人 医薬品適正使用・乱用防止推進会議と相互連携し、活動の活性化のため、双方の WEB サイトでリンクし、情報を共有した。

上記の開催について、費用は発生しなかった。

(オ)定款第5条(3)、医薬情報の収集提供についての活動として、薬剤師向け機関紙への寄稿、および論文・ 学会発表を以下 45 件行った。 \*著者名アンダーラインは 会員、理事 (前年までの計 140件)

1	医薬品情報誌  福澤翔太執筆、鍋島俊隆 監修   クレメジン <sup>®</sup> 速崩錠   <i>や(ほう紙(スズケングループ発行)第78号2018年4月発行</i>
2	医薬品情報誌 渡邊雄貴執筆、鍋島俊隆 監修 グーフィス <sup>®</sup> 錠 -エロビキシバット水和物錠- <i>や(ほう紙(スズケングループ発行)第79号 2018 年 6 月発行</i>

	医薬品情報誌
2	堀田 彰悟筆、鍋島俊隆 監修
3	レキサルティ <sup>®</sup> 錠 -ブレクスピプラゾール錠-
	や(ほう紙(スズケングループ発行)第80 号 2018 年 12 月発行
	医薬品情報誌
4	石田 友規執筆、鍋島俊隆 監修
·	タグリッソ <sup>®</sup> 錠 - 抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤-
	ヤ(ほう紙(スズケングループ発行)第81 号 2019 年 1 月発行 著書
	有音   AlkumT., Nabeshima T.
5	Neuroscience of Nicotine (978-0-12-813035-3). Chapter 6, Chapter 24,
	Elsevier B.V. (Amsterdam)
	原著論文
	Hasegawa S., Miyake Y., Yoshimi A., Mouri A., Hida H., Yamada K., Ozaki N., Nabeshima T., Noda Y.: Dysfunction of serotonergic
6	and dopaminergic neuronal systems in the antidepressant-resistant impairment of social behaviors induced by social defeat stress
	exposure as juveniles, International Journal of Neuropsychopharmacology, 21, 837-846 (2018)
	原著論文
7	Yamada S., Itoh N., Nagai T., Nakai T., Ibi D., Nakajima A., <u>Nabeshima T., Yamada K.</u> : Innate immune activation of astrocytes
	impairs neurodevelopment via upregulation of follistatin- like 1 and interferon-induced transmembrane protein 3,
	Journal of Neuroinflammation, 15, 295 (2018)
	原著論文   Tran HQ., Park S.J., Shin EJ., Tran TV., Sharma N., Lee Y.J., Jeong J.H., Jang CG., Kim DJ., Nabeshima T., Kim HC.:
8	Clozapine attenuates mitochondrial burdens and abnormal behaviors elicited by phencyclidine in mice via inhibition of p47 phox;
	Possible involvements of phosphoinositide 3-kinase/Akt signaling, <i>Journal of Psychopharmacology, 32, 1233-1251 (2018)</i>
	原著論文
9	Yamamoto Y., Yamasuge W., Imai S., Kunisawa K., Hoshi M., Fujigaki H., <u>Mouri A., Nabeshima T., Saito K.</u> : Lipopolysaccharide shock
9	reveals the immune function of indoleamine 2,3-dioxygenase 2 through the regulation of IL-6/stat3 signalling,
	Scientific Reports, 8, 15917 (2018)
	原著論文
10	Tran HQ., Shin EJ., Hoai Nguyen BC., Phan DH., Kang MJ., Jang CG., Jeong J.H., Nah SY., Mouri A., Saito K.,
10	Nabeshima T., Kim HC.: $\overline{5}$ -HT 1A receptor agonist 8-OH-DPAT induces serotonergic behaviors in mice via interaction between PKC $\delta$ and p47phox,
	Food and Chemical Toxicology, 123, 125-141 (2019)
	原著論文
	Sharma N., Shin EJ., Kim N.H., Cho EH., Jeong J.H., Jang CG., Nah SY., Nabeshima T., Yoneda Y., Cadet J.L., Kim HC.:
11	Protective potentials of far-infrared ray against neuropsychotoxic conditions,
	Neurochemistry International, 122, 144-148 (2019)
	·
	原著論文
12	Nguyen B.T., Sharma N., Shin EJ., Jeong J.H., Lee S.H., Jang CG., Nah SY., Nabeshima T., Yoneda Y., Kim HC.: Theanine
	attenuates memory impairments induced by: Klotho gene depletion in mice, Food and Function, 10, 325-332(2019)
	原著論文
13	Mai H.N., Nguyen L.T.T., Shin EJ., Kim DJ., Jeong J.H., Chung Y.H., Lei X.G., Sharma N., Jang CG., Nabeshima T., Kim HC.:
13	Astrocytic mobilization of glutathione peroxidase-1 contributes to the protective potential against cocaine kindling behaviors in
	mice via activation of JAK2/STAT3 signaling, Free Radical Biology and Medicine, 131, 408-431(2019)
	原著論文
14	Shin EJ., Dang DK., Hwang Y.G., Tran HQ., Sharma N., Jeong J.H., Jang CG., Nah SY., Nabeshima T., Yoneda Y., Cadet
	J.L., Kim HC.: Significance of protein kinase C in the neuropsychotoxicity induced by methamphetamine-like psychostimulants,
	Neurochemistry International, 124, 162-170(2019)  原著論文
	水名調文   Hasegawa S., Yoshimi A., Mouri A., Uchida Y., Hida H., Mishina M., Yamada K., Ozaki N., Nabeshima T., Noda Y.: Acute
15	administration of ketamine attenuates the impairment of social behaviors induced by social defeat stress exposure as juveniles via
	activation of $\alpha$ -amino-3-hydroxy-5-methyl-4-isoxazolepropionic acid (AMPA) receptors,
	Neuropharmacology, 148, 107-116 (2019)
	原著論文
16	Shimizu C., Wakita Y., Inoue T., Hiramitsu M., Okada M., Mitani Y., Segawa S., Tsuchiya Y., Nabeshima T.: Effects of lifelong intake
	of lemon polyphenols on aging and intestinal microbiome in the senescence-accelerated mouse prone 1 (SAMP1),
	Scientific Reports, 9, 3671 (2019)

17	総説 Fujigaki H., <u>Mouri A.</u> , Yamamoto Y., <u>Nabeshima T., Saito K.</u> : Linking phencyclidine intoxication to the tryptophan-kynurenine pathway: Therapeutic implications for schizophrenia, <i>Neurochemistry International</i> , 125, 1-6(2019)
18	総説 Alkam T., <u>Nabeshima T.</u> : Molecular mechanisms for nicotine intoxication, <i>Neurochemistry International, 125, 117-126(2019)</i>
19	雑文 <u>鍋島俊隆</u> 「精神科薬剤師に期待する」 <i>日本精神薬学会誌 Vol2. No2 16-19(2018)</i>
20	学会発表 Poster Takayoshi Mamiya, Shota Tanase, Maki Hada, Shunsuke Kato, Shino Takeuchi, Daisuke Ibi, Toshitaka Nabeshima, Masayuki Hiramatsu: Adolescent mouse hippocampal function was impaired by prenatal nicotine exposure The92thJPS Meeting/WCP2018KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
21	学会発表 Poster Presentation Hisashi Kubota, Akihiro Mouri, Kasuhiro Kunisawa, Moe Niijima, Tomoaki Teshigawara, Mami Hirakawa, Yuko Mori, Yasuko Yamamoto, Toshitaka Nabeshima, Kuniaki Saito: Involvement of kynurenine 3-monooxygenase in the vulnerability to the PCP-induced behavioral abnormalities The92thJPS Meeting/ WCP2018KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
22	学会発表 Poster Presentation Yuko Mori, Akihiro Mouri, Kazuo Kunisawa, Mami Hirakawa, Hisayoshi Kubota, Tomoaki Teshigawara, Yasuko Yamamoto, Toshitaka Nabeshima, Kuniaki Saito: Combination in prenatal nicotine exposure with juvenile isolation rearing induces depressive behavior and change of tryptophan metabolism The92thJPS Meeting/WCP2018KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
23	学会発表 Poster Presentation Moe Nii;jima, <u>Akihiro Mouri</u> , Tomoaki Teshigawara, Kazuo Kunisawa, Hisayoshi Kubota, Mami Hirakawa, Yuko Mori, Masato Hoshi, <u>Toshitaka Nabeshima</u> ; Involvement of kynurenine pathway in behavioral impairments in the offspring induced by the prenatal poly I: C injection The92thJPS Meeting/ WCP2018KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
24	学会発表 Poster Presentation Kazuo Kunisawa, <u>Akihiro Mouri</u> , Akika Kosuge, Tsubasa lida, Yasuko Yamamoto , <u>Kuniaki Saito</u> , <u>Toshitaka Nabeshima</u> : Repeated social defeat induces social interaction deficits associated with the alteration of kynurenine pathway activity in the prefrontal cortex. The 92th JPS Meeting/WCP 2018 KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
25	学会発表 Poster Presentation Mami Hirakawa, Akihiro Mouri, Kazuo Kunisawa, Yuko Mori, Moe Niijima, Hisayoshi Kubota, Tomoaki Teshigawara, Hidetsugu Fujigaki, <u>Toshitaka Nabeshima</u> , Kuniaki Saito: Exposure to valproic acid during pregnancy induces autism endophenotypes in the male offspring The92thJPS Meeting/ WCP2018KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
26	学会発表 Poster Presentation Akihiro Mouri, Tomoaki Teshigawara, Kazuo Kunisawa, Yasuko Yamamoto, Kiyofumi Yamada, Yukihiro Noda, Kuniaki Saito, Shu Narumiya, Toshitaka Nabeshima: Prostaglandin E receptor subtype EP1 deficiency elicits AD/HD-like behavior correlated with a dysfunction of dopamine D1 receptor-ERK signaling in the prefrontal cortex The92thJPS Meeting/WCP2018KYOTO, KYOTO July 2-5, 2018
27	学会発表 Poster Presentation Yuko Mori, Akihiro Mouri, Kazuo Kunisawa, Mami Hirakawa, Moe Niijima, Hisayoshi Kubota, Hidetsugu Fujigak¹, Yasuko Yamamoto, Toshitaka Nabeshima, Kuniaki Saito: Combination of prenatal nicotine exposure and adolescent isolation stress induce behavioral abnormalities with alternations of tryptophan metabolism in adult mice.  The 15th International Tryptophan Research Meeting (ISTRY2018), Hikone, Sep. 18-21,2018
28	学会発表 口演 加藤俊佑、 <u>間宮隆吉、伊藤愛、棚瀬将太、衣斐大祐、鍋島俊隆、平松正行</u> 胎生期ニコチン曝露が前頭前皮質領域の長期増強におよぼす影響とガランタミンの作用 第133回日本薬理学会近畿部会 広島市(2018年6月1日)

学会発表 ポスター 伊藤愛、間宮隆吉、加藤俊佑、森 美奈、衣斐大祐、鍋島俊隆、平松正行:胎生期ニコチン曝 るマウス脳内神経伝達物質レベルと行動障害との関連 第2回日本精神薬学会総会・学術集会 名古屋(2018年9月15日/ 学会発表 ポスター 野口七瀬、間宮隆吉、伊藤愛、加藤俊佑、衣斐大祐、鍋島俊隆、平松正行:社会心理的ストレン	~16日)
	くが α 7
ニコチン性アセチルコリン受容体へテロノックアウトマウスの行動に及ぼす影響 第2回日本精神薬学会総会・学術集会 名古屋(2018年9月15日	~16日)
学会発表 ポスター 31 加藤俊佑、間宮隆吉、伊藤愛、棚瀬将太、野口七瀬、衣斐大祐、鍋島俊隆、平松正行:ガランよる胎生期ニコチン曝露誘発前頭皮質長期増強障害の緩解作用 第2回日本精神薬学会総会・学術集会 名古屋(2018年9月15日)	
学会発表 シンポジューム講演 國澤和生、 <u>毛利彰宏</u> 、山本康子、齋藤邦明、 <u>鍋島俊隆</u> うつ病発症におけるトリプトファン代謝の関与 第34回日本ストレス学会学術総会 名古屋(2018年10月2	27日)
学会発表 招待講演 <u>Toshitaka Nabeshima</u> : Experience on how to build a collaboration from Japan perspective. AsCNP-ASIAN linternationa Congress of Neuropsychopharmacology2018, Indonesia(Feb.28-Mar	2, 2019)
学会発表 招待講演 Toshitaka Nabeshima: How we use biomarkers to diagnose depression? AsCNP-ASIAN linternationa Congress of Neuropsychopharmacology2018, Indonesia(Feb.28-Mar	2, 2019)
学会発表 ポスター Kazuo Kunisawa <u>, Akihiro Mouri</u> , <u>Toshitaka Nabeshima</u> , <u>Kuniaki Saito</u> : IDO1 regulates vulnerability to social defeat s AsCNP-ASIAN linternationa Congress of Neuropsychopharmacology2018, Indonesia(Feb.28-Mar	
学会発表 口演 <u>毛利 彰宏、キョヘイル、ヤン ヤン、國澤 和生、</u> 勅使河原 知明、平川 茉実、森 優子、山本 シュウ リボ、鍋島 俊隆、齋藤 邦明 : 慢性予測不能軽度ストレス負荷は側坐核のドパミン機能 前頭皮質・海馬のセロトニン機能低下を伴ううつ様行動を惹起する 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日	亢進と
学会発表 口演 吉田 樹生、長谷川 章、吉見 陽、 <u>毛利 彰宏</u> 、内田 鷹司、肥田 裕丈、三品 昌美、山田 清 崎 紀夫、鍋島 俊隆、野田 幸裕 幼若期社会的敗北ストレス 10 日間負荷による社会性行動障害におけるグルタミン酸受容体の役割 Involvement of glutamate receptors in the impairment of social behaviors induced by social defeat stress exposure as 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日	到 juveniles
学会発表 口演 Shan Jiajing、毛利 彰宏、Yang Yang、Lu Qiaohu、國澤 和生、勅使河原 知明、平川 茉実、森 優子康子、Libo Zou、鍋島 俊隆、齋藤 邦明 慢性コルチコステロン暴露マウスに対する XJ-Et-8 の抗うつ効果 Antidepressant effects of XJ-Et-8 in mice chronically exposed to corticosterone 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日	
学会発表 口演 新島 萌、 <u>毛利 彰宏</u> 、勅使河原 知明、國澤 和生、窪田 悠力、平川 茉実、森 優子、星 雅本 康子、 <u>鍋島 俊隆、齋藤 邦明</u> キノリン酸ホスホリボシルトランスフェラーゼ(QPRT)の欠損はドパミン神経機能低下を介した自発運動と認知機能障害を惹起する The deficit of quinolinic acid phosphoribosyltransferase induces hypolocomotion and cognitive impairment through impart dopaminergic neuronal function 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日	b量低下 dirment of

	I NV 3 and about
40	学会発表 口演 Shan Jiajing1、毛利 彰宏、Yang Yang、Lu Qiaohui、國澤 和生、勅使河原 知明、平川 茉実、森 優子、山本康子、Libo Zou、鍋島 俊隆、齋藤 邦明 慢性コルチコステロン暴露マウスに対する XJ-Et-8 の抗うつ効果 Antidepressant effects of XJ-Et-8 in mice chronically exposed to corticosterone 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日~16日
41	学会発表 ポスター <u>毛利 彰宏</u> 、キョヘイル、ヤン ヤン、國澤 和生、勅使河原 知明、平川 茉実、森 優子、山本 康子、 シュウ リボ、 <u>鍋島 俊隆、齋藤 邦明</u> 慢性予測不能軽度ストレス負荷は側坐核のドパミン機能亢進と前頭皮質・海馬のセロトニン機能低下を伴 ううつ様行動を惹起する Chronic unpredictable mild stress-induced depressive behavioral changes are associated with dopaminergic hyperfunction in the nuclues accumbens and serotonergic hypofunction in the prefrontal cortex and hippocampus of mice 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日~16日
42	学会発表 ポスター 新島 萌、毛利 彰宏、勅使河原 知明、國澤 和生、窪田 悠力、平川 茉実、森 優子、星 雅人、山本 康子、 <u>鍋島 俊隆、齋藤 邦明</u> キノリン酸ホスホリボシルトランスフェラーゼ(QPRT)の欠損はドパミン神経機能低下を介した自発運動量低下と認知機能障害を惹起する The deficit of quinolinic acid phosphoribosyltransferase induces hypolocomotion and cognitive impairment through impairment of dopaminergic neuronal function 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日~16日
43	学会発表 ポスター 吉田 樹生、長谷川 章、吉見 陽、毛利 彰宏、内田 鷹司、肥田 裕丈、三品 昌美、山田 清文、尾崎 紀夫、鍋島 俊隆、野田 幸裕 幼若期社会的敗北ストレス 10 日間負荷による社会性行動障害におけるグルタミン酸受容体の役割 Involvement of glutamate receptors in the impairment of social behaviors induced by social defeat stress exposure as juveniles 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日~16日
44	学会発表 ポスター 竹河 里帆、 <u>間宮 隆吉</u> 、木股 伶子、加藤 俊佑、伊藤 愛、衣斐 大祐、鍋島 <u>俊隆、平松 正行</u> 胎生期ニコチン曝露は、仔の行動変化を引き起こす: 脳内サイトカインの関与 Prenatal nicotine exposure induces behavioral changes of the offspring: Involvement of cytokine levels in the brain. 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日~16日
45	学会発表 ポスター 木股 伶子、間宮 隆吉、竹河 里帆、伊藤 愛、衣斐 大祐、鍋島 俊隆、平松 正行 胎生期ニコチン曝露による仔の行動変化: 脳内ケモカインの関与 Influences of prenatal nicotine exposure on behavioral functions of the offspring: Involvement of chemokine levels in the brain. 第92回日本薬理学会年会 大阪(2019年3月14日~16日
46	学会発表 一般口演 清水 千賀子、鍋島俊隆 国産もち麦「もっちりぼし」の長期摂取が健康寿命に与える影響 日本薬学会第139 回年会 千葉市(2019年3月22日)
47	学会発表 ポスター発表 内田 美月、野田幸裕、鍋島俊隆 参加体験型学習による児童への薬物乱用防止教育の実践 日本薬学会第139回年会、千葉市(2019年3月22日)
48	学会発表 ポスター発表 永田翔吾、間宮隆吉、鍋島俊隆、平松正行 幼若期ストレスが CCKR2tg マウスの学習記憶に及ぼす影響 日本薬学会第139 回年会、千葉市(2019年3月22日)

これらの活動について、費用は発生しなかった。

(カ)定款第5条(3)医薬情報の収集提供についての活動として、「危険ドラッグ検索のための平成29年文献領域 区分作業」において、文献について調査および分析と翻訳を行った。

「危険ドラッグ検索のための2018年文献領域区分作業」

協力者; 毛利彰宏、鍋島俊隆、高尾精一(理事)

この事業における会計活動は次の通りである。

受託費195.696 円調査費収入62.078 円

### (2) その他の事業に係る事業

実施しなかった。

### (3) 会議の開催に関する事項

### 1. 理事会の開催

2018年第1回理事会

(ア)開催日時及び場所

2018年6月23日(土曜日) 13時00分~14時30分

於:名古屋名鉄百貨店本店 9 階バンケットルーム(名古屋市中村区名駅)

(イ)議題

①第13期医薬品適正使用推進機構 通常総会提出議案について

### 2. 定時総会の開催

第13期特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 通常総会

(ア)開催日時及び場所

2018年6月23日(土曜日) 14時30分~16時00分

於:名古屋名鉄百貨店本店9階バンケットルーム(名古屋市中村区名駅)

### (イ)議題

- ① 特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構の第13期(2017年4月から2018年3月)事業活動について
- ② 第13期事業収支報告について
- ③ 第13期監査報告について (神谷 誠、西原浩文監事による監査結果の報告)
- ④ 定款の変更についての説明とそれに伴う事業期間の変更
- ⑤ その他の活動について

以上